



2020年9月7日
東京モノレール株式会社
公益社団法人日本ホッケー協会

東京モノレール×日本ホッケー協会 『オフィシャル社会共創パートナー契約』 協定書の締結について

この度、東京モノレール株式会社（代表取締役社長 伊藤悦郎、以下、「東京モノレール」という）と、公益社団法人日本ホッケー協会（会長 中曽根 弘文、以下、「ホッケー協会」という）は、お互いが長期的な相互協力を実施することで、大井ホッケー競技場の最寄り駅である大井競馬場前駅を中心とした東京モノレール沿線地域のスポーツを通じた活性化を図り、これによって両社のブランディングの向上、並びに東京モノレール沿線地域の発展及び利用者満足度の向上に寄与することを目的とした『オフィシャル社会共創パートナー』協定書を締結しました。

1 協定書の名称 オフィシャル社会共創パートナー締結に関わる協定書

2 締結日 2020年9月7日（月）

3 締結内容

両社にて相互協力して行う事業は、次のとおりとなります。

- (1) 東京モノレール沿線地域の活性化に関する事業
- (2) 東京モノレール沿線地域におけるホッケー競技の普及に関する事業
- (3) その他必要と認められた事業

4 その他

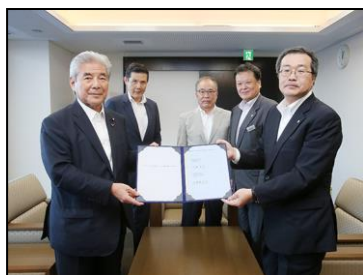
東京モノレールとホッケー協会は東京2020オリンピック・ホッケー試合会場となる大井ホッケー競技場にて署名式を行いました。当日は協定書への署名式の他、メインスタジアム（ノースピッチ）で女子日本代表候補さくらジャパン選手等によるホッケー実技披露及び参加者によるホッケー体験会等も行いました。



左より女子日本代表候補選手：及川 菜選手
東京モノレール代表取締役社長：伊藤 悦郎氏
日本ホッケー協会会長：中曽根 弘文氏
女子日本代表候補選手：狐塚 美樹選手

<参考> オフィシャル社会共創パートナーとは

オフィシャル社会共創パートナーとは、東京モノレールと日本ホッケー協会の各々が保有する資源を活用しつつ、相互が認識する社会的課題の解決その他の地域社会における価値創造活動を、共同で行うための地位と定義しています。



協定書の署名式の様子



大井競馬場前駅北側外観に掲出されているJHAのロゴマーク



東京2020オリンピック・ホッケー会場
大井ホッケー競技場